令和7年度 施政方針(概要版)



人と人がっながり

~対話で怒く期来市の来来~



令和7年2月

朝来市長 藤 岡 勇



①「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む

子どもから大人まで様々な学びの場をつくることにより、 市民一人一人のシビックプライドや主体性を育みます。 また、多様な価値観・考え方等を互いに認め合うことで、 まちを楽しくする自分らしい生き生きした活動(経済活動含 む)をつくる人材が育まれるまちを目指します。

実施してきたこと

- 大学と連携し、高校生のコミュニケーション教育やデジタル人材を育成
- 安全な通学を確保するためのスクール バスの運行
- コウノトリ育む農法で栽培した無農薬 米を学校給食に提供
- 学校給食の学期無償化
- ・中学校用AIドリルの導入
- 高校生キャリアトークカフェ及び市長とのふれあいトークの実施
- 不登校児童生徒支援員を小・中学校に配置
- 和田山ジュピターホールの改修 など



無農薬米を使用した安全・安心な学校給食



中学生の派遣団の姉妹都市交流

令和了年度の主な事業

- 子育て世帯の経済的負担を軽減する ため小・中学校給食費の完全無償化
- 姉妹都市交流事業の派遣対象の枠を 市内在住の私立中学生も対象
- 不登校児童生徒支援員の配置拡充
- 屋根付運動施設の整備
- 中学校部活動の地域展開の検討
- 生野学園長寿命化改修に係る補助
- すべての人の人権が尊重される社会 を目指した教育・啓発の推進 など



②人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する

人の暮らしや営みとともにある自然との共生を図りながら、 朝来市が持つ資源・魅力と市外の活力をつなげ、時代にあわ せて進化し、内発的な経済力を高め、地域で循環する産業が 確立されたまちを目指します。

実施してきたこと

- ・企業誘致及び市内事業所の規模拡張の 受け皿となる新たな産業団地の造成検討
- 子育てしながら働きたい女性等を対象と したお仕事大相談会と朝来クリエイター スクールの実施
- ・映える写真の<mark>撮影スポットとして</mark>神子畑 にフォトスポットの整備
- 岩津ねぎを核とした資源循環型農業システムが日本農業遺産に認定
- 地域全体で有機農業を進めるオーガニックビレッジ宣言
- プラスチックごみの新たな分別収集に向けてまちづくりフォーラムでの周知予告など



映える神子畑のフォトスポット



地域全体で有機農業を進める オーガニックビレッジ宣言

令和7年度の主な事業

- 全国ねぎサミット2025inあさごを本市で開催 し、岩津ねぎを全国に情報発信
- ・市内農業者の負担を軽減するため、ラジコン 草刈り機を無償貸与
- ・物価高騰による農家の生産意欲減退を防ぐため、水稲苗代、肥料等資材代を補助
- 新たな産業団地の造成と市内事業者の店舗等のリニューアルを支援
- あさごうまいもんフェスと全国ねぎサミット2025 inあさごを合同開催し特産品等の魅力を発信
- 養父市との協調による新たなプラスチックご みの分別収集への取り組み
- ・生物多様性による持続可能な地域づくりに向 けた「朝来市生物多様性地域戦略」の策定

など



③多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める

人と人のつながり・交流を育むことで様々な活動につなげ、 多様な人が参画する地域コミュニティの充実を図るとともに、 移住定住の推進や関係人口の創出等の新たな力により、地域 力がさらに高まっているまちを目指します。

実施してきたこと

- 新たな地域協働の姿についての検討
- ・まちの仲間として地域を共に支える地域おこし協力隊の配置
- ・朝来市への移住・定住を促進する空き 家バンク事業、あさご暮らし体験事業 の推進
- 市民参画のもと多文化の相互理解を深めるための国際交流事業の実施
- 未婚男女の出会いの場づくりとなる大 規模婚活イベントの実施
- 和田山花火大会の開催に向けた地域との調整 など



市民の願いが地域に伝わった和田山花火大会

後世につなぐ歴史と地域のつながり(壱岐市の鬼凧を揚げる東河小学校児童)

令和7年度の主な事業

- 地域自治協議会の財政支援の拡充と 人的支援制度の創設
- 結婚新生活を応援するための補助や 未婚男女の出会いの場づくりとなる 大規模婚活イベントの実施
- ・ 壱岐市との友好都市提携10周年を 記念しての写真展等イベントの実施
- 移住された方と農業等のマッチング を図る住みたい田舎移住促進プロジェクトの推進
- ・在住する外国人が、地域社会の一員 として暮らす多文化共生社会を推進
- 朝来市を対外的にPRするため市制施 行20周年を機として各種事業を実施

など



④誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを実感できる

世代等を超えて、市民一人一人が地域とつながり、誰もが 地域の中で居場所や役割を持つことで、地域の人々に囲ま れ安心した子育てや暮らしが実現できるとともに、市民一 人一人が生きがいを感じながら、健幸で心豊かな暮らしを 実現できるまちを目指します。

実施してきたこと

- 朝来医療センターへの産婦人科外来開設の 働きかけ
- ・ ○歳から高校生までの医療費無償化と所得制限の撤廃及び他の公費負担医療との併用を可能にし子育て世代の医療費負担を軽減
- ・妊産婦や子育て家庭に寄り添う支援を強化するため産婦人科・小児科オンライン相談を本格導入
- ・第2子以降保育料の無償化
- 子育ての援助を受けたい方をサポートするファミリー・サポート・センター事業の実施
- ・朝来市こども家庭センターの創設
- 多様な保育環境を支援するため家庭内保育 をする場合に支援金を支給
- 科学的根拠(国保データ)に基づくフレイル状態予防事業の実施 など



民生委員さんによる「こんにちは赤ちゃん事業」





朝来医療センターに気軽に相談できる 産婦人科外来が開設

令和了年度の主な事業

- 朝来市こども家庭センターの周知イベント 「あさごっこフェスタ(仮称)」を開催
- ・朝来市こども計画策定に向けた意見聴取
- 産婦健康診査費を全額助成
- 新生児聴覚検査費を全額助成
- ・子どもの経鼻インフルエンザ予防接種費用 を助成し心理的・身体的負担を軽減
- 帯状疱疹予防接種に係る定期接種者の更なる自己負担の軽減と任意接種者へ予防接種費用助成を継続
- 70歳以上の方に加え国保加入者の5つの がん検診に係る受診料を無料
- 高齢者等の紙おむつの廃棄に係る費用負担 を軽減するためごみ袋を支給
- 民生委員・児童委員等の処遇の改善 なと



⑤市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を持続する

市民の暮らしを支える都市基盤の持続可能な維持管理・運営を図ります。また、地域防災力の強化や公共交通の確保等により、誰もが地域の中で安全・安心に暮らせるまちを目指します。

実施してきたこと

- デマンド型乗合交通「あさGO」の 生野・朝来エリアの運行
- ・まちの玄関口であり顔となる和田山 駅周辺の活性化を図るため和田山駅 南北自由通路等の整備検討
- 通学道路のヒヤリハットマップの作成や電光掲示版の設置による危険通学路の交通安全対策
- 災害から命を守るためのマイ避難力 ードの作成
- 高齢者等を悪質な詐欺被害から守る ため自動録音電話機の購入費用助成 など



デジタルデバイスを活用し た通学路の注意喚起

令和7年度の主な事業

- ・デマンド型乗合交通「あさGO」の 市内全域運行
- JR和田山駅南北自由通路及びJR生野駅東口待合室改修の設計
- 朝来医療センター周辺の土地利用について、魅力あるまちづくりを推進するため、土地利用の在り方を検討
- 除雪機械オペレータを確保するため 機械運転の資格取得費用等を補助
- ・住むことの安全を確保するためがけ 地近接住宅の移転及び耐震化を促す 補助制度を拡充
- ・運転免許証を返納した高齢者が購入するシニアカー等の購入費用を補助
- ・市民の防災意識向上を図るため、防 災用品購入費用の補助 など



デマンド型乗合 交通「あさGO」 を市内全域運行へ

有事に備え自助の取り組みを促す ため防災用品の購入を支援



⑥まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行財政運営を実現する

市民との対話を大切にするとともに、まちの動きや情報を市民と共有することで、市民自治のまちづくりをさらに推進します。また、持続可能で自律した自治体運営を推進するため、効率的で健全な行財政運営を図るとともに、市民とともにある、市民に信頼される職員・市役所を目指します。

実施してきたこと

- 庁内業務のデジタル化による効率化 の推進
- オンライン申請及び公共施設予約システムの導入
- あさご未来会議、まちづくりフォーラム、ふれあい市長室など対話による開かれた広聴事業の実施
- 複雑多様化する行政課題に対応する 行政組織の再編
- ・生野学童クラブの整備
- ふるさと納税制度の活用による地域 資源の販路拡大と自主財源の確保 など



まちづくりフォーラムで今後のまちづくり について意見交換



まちの交流拠点としての機能性と利便性を 備えた生野庁舎 (イメージ)

令和7年度の主な事業

- 書かない窓口サービス及びキャッシュレス決済サービスの提供
- 証明書自動交付機を各支所に設置
- 令和8年度を始期とする第3次総合 計画後期基本計画を策定
- 生野庁舎の整備
- 積極的な自主財源確保の一環として ケーブルテレビの有料広告の導入と ネーミングライツの導入検討
- ふるさと納税制度の活用による地域資源の販路拡大と自主財源の確保

など